

## 刊行にあたって

文京学院大学は、1991（平成3）年に文京女子大学として開学し、2002（平成14）年には現在の大学名への変更を行い、本年22年目を迎えた。この間、2001（平成13）年には大学基準協会正会員への加盟の相互審査を受け、この年の4月1日付で登録されている。また5年後の、2006（平成18）年度には、第1回の認証評価機関による第三者評価を受審している。本書は、3回目の審査（認証評価としては2回目）となる「点検・評価報告書」である。

本学はこの22年の間、「自立と共生」という建学の理念のもとに、大学設置基準の大綱化・弾力化を受け、カリキュラム改革をはじめ、学科やコースの整備を行い、教育の国際化、生涯学習化など、「社会に開かれた大学」としての充実を図り、懸命の努力を続けてきた。特色GPや、学生支援GPなど競争的資金の獲得も行うなど成果もあげてきた。また、この3年間は、中教審の「学士課程答申」を受けて、教育の質保証を念頭に置いた、3つのポリシーの推進やPDCAサイクルの構築により、学士課程教育の質保証に力を注いできた。中規模大学として、「教育と研究」を真に実効あるものとするべく、改革に改革を重ねる日々であったと言える。

現在、組織は大学4学部9学科、大学院4研究科5専攻の構成であるが、大学の附属機関も生涯学習センターをはじめ14の附置センターが順調に運営されている。内外の他大学との交流も盛んで、外国人留学生の迎え入れも進み、キャンパスも国際化されている。そして、2005（平成17）年度からは学部も共学化され、新入生の25パーセント程度が男子学生となり、学生生活もより活性化し、目下のところ順調に男女の共生が実現されている。

過去22年の歩みのうち、特に数年は、21世紀を生き抜くため大学としての基本的な5つの教育ビジョンを掲げ、大学運営会議をはじめ、内部質保証委員会、ベンチマーク委員会、学生募集戦略会議、キャリア戦略会議、評議会、各学部教授会と理事会が真剣に改革案を検討し、実現してきたものである。大学としては当然とはいえ、教職員一体となって、きわめて透明性の高い手続きの中で、円滑になしえて来たことを誇りに思う次第である。

この21世紀への本学の教育ビジョンは教職員をはじめ新入生にも周知を図っているものであり、本点検・評価報告書の基底をなすものであるので、敢えてここに掲げることにしたい。

### 文京学院大学21世紀ビジョン

1. 本学は、建学の精神である人間としての自立と共生をできるようきちんとした人間教育と職業教育を行う。小規模ながら個性と実力をもった教養プラス専門大学である。
2. 学部卒業とともに社会に出る人の支援も惜しまないが、大学院でも勉強できる体制づくりを行う。資格取得と専門職をめざしていつでも学べる、開かれた教育機関として、社会人が学びやすい大学院を構築する。また、生涯学習センターではいつでも学ぶことができるよう卒業生を優先的にできるだけ低学費で受け入れる。
3. 先生が、親身で親切。ゼミナールやグループで学生ひとり一人の天分を伸ばす大学である。したがって、卒業生は常識を身につけており、専門知識もあり、社会からは「まかせて安心な人」といわれる。教育実習、社会貢献実習、福祉実習等を通じて地域貢

献も行い、学生にとっても社会との連携を大切にする大学である。

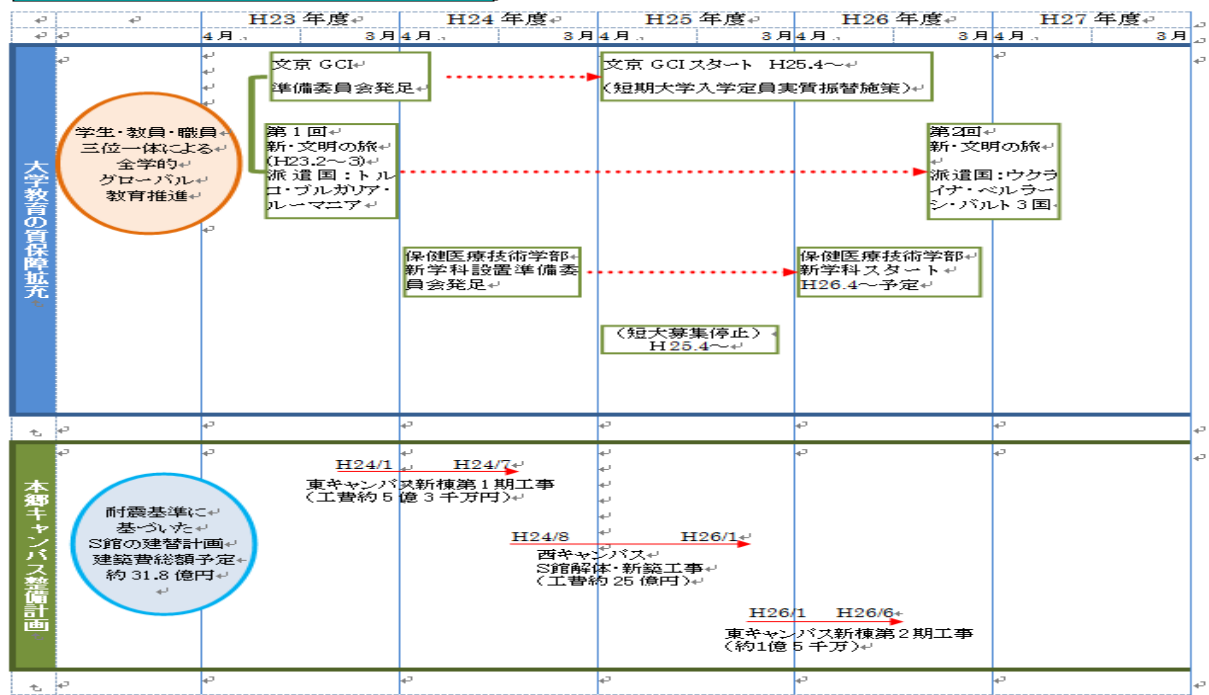
4. 国際化社会に対応し、アジアばかりか英語圏の学生を受け入れるとともに送り出し、交換留学に力を入れる。国際交流が盛んな大学である。
5. 教育は、教職員ひとり一人の情熱によって行われる。21世紀を担う人を育てる熱い心をもつ集団でありたい。学科、学部、キャンパスを越えて協力し合って教育研究の最大の効果をあげることを目指す。したがって、大いに議論は尽くすが、各部署の利害を超えた大局的判断を「大学運営会議」等で行い、協力体制をとる。

この21世紀ビジョンでは「教育」が前面に出ているが、言うまでもなく大学は「研究」を前提とする機関であり、本学においても大学人としての研究を重視し、切磋琢磨しながら、互いに研鑽を重ねているところである。

また、大学の「中・長期的な管理運営方針」の策定は、毎年、「学園の事業計画」として理事会で策定し、評議会の審議を経て、大学運営会議で報告され、各学部の教授会に報告される。同時に職員にも文書で発表され、さらに学外（公式ホームページで公開）に発表している。平成23年度は、以下のような計画が発表されている。大学構成員には十分周知されている。

- 1) 「教育力日本一」の大学を目指す具体的な取り組みの実施
- 2) 初年次教育の検証と改善
- 3) 学生の公的資格取得・合格率の向上のためベンチマークを明確にした諸施策の実施
- 4) 就職実績の改善のための組織改善とキャリア指導の強化
- 5) 地球環境に配慮した省資源、省エネルギー体質「エコキャンパス」への積極的な取り組み

文京学院大学中期運営計画



少子化に加えて国際化社会の中で、大学の前途はまことに厳しいものと予想される。本

学がこれからも個性輝く大学として存立しうるかは今後の努力にかかっているといえよう。本報告書を刊行するにあたり、これまでもまして全学をあげ、大学の充実を図り、社会に貢献し続けることを、改めて誓うものである。

なお、末筆ながら、この点検・評価報告書を執筆した教職員各位、とりわけ森宮勝子自己点検評価運営委員会委員長（副学長・教授）の格段のご尽力に感謝の意を表したい。

2012年12月

文京学院大学  
学長 川邊 信雄

## 学園の「あゆみ」

1924年	4月	東京市本郷区駒込追分町62番地（本郷キャンパスの一部）で島田依史子、島田裁縫伝習所を開く
1927年	2月	田裁縫伝習所を開く
1932年	4月	東京府知事認可を受け、本郷家政女学校と組織名称を変更 甲種実業学校（高等女学校と同じく専門学校入学資格をもつ）として文部大臣の許可を受けて十佳女子高等職業学校を開校
1935年	9月	本郷家政女学校を本郷商業家政女学校と校名変更
1947年	2月	本郷商業家政女学校を文京女学院と組織名称を変更
	4月	新学制により、文京学園女子中学校開校
	6月	文部省より財団法人文京学園設置認可を受け、島田依史子理事長となる
1948年	4月	文京学園女子高等学校の設立認可を受け、十佳女子高等職業学校はその使命を終えて発展的に廃せられる
1951年	3月	財団法人文京学園を学校法人文京学園に改める
1954年	4月	文京学園附属幼稚園開園
1959年	4月	文京女学院医学技術者養成選科開校
1964年	4月	文京女子短期大学（英語英文学科）開学
1966年	4月	文京短大附属第一幼稚園開園
1967年	4月	文京短大附属高等保育学校開校
1969年	4月	文京保母専門学校開校
1976年		専修学校制度施行により文京短大附属高等保育学校・文京保母専門学校が専修学校に移行。保育学校を「文京保育専門学校」と改称。文京女学院医学技術科を専修学校に移行し、文京女学院医学技術専門学校と改称
1982年	4月	文京女子短期大学経営学科・保育科を埼玉県ふじみ野校地に開設（文京保母・保育専門学校は発展的に廃せられる）
1988年	4月	文京女子短期大学専攻科（保育専攻）設置
1989年	11月	学園創立65周年
1991年	4月	文京女子大学経営学部開学（文京女子短期大学経営学科は発展的に廃せられる）
1994年	3月	文京女子大学高等学校・文京女子大学中学校に校名変更
	10月	「文京学園軽井沢セミナーハウス」竣工

1996年	4月	学園創立70周年
	6月	島田依史子記念館竣工
1997年	4月	生涯学習センター開設 文京女子大学人間学部人間学科開設（文京女子短期大学保育科は発展的に廃せられる）
1999年	4月	文京女子大学大学院経営学研究科経営学専攻修士課程開設
2001年	4月	文京女子大学大学院人間学研究科人間学専攻修士課程開設 文京女子大学大学院人間学研究科心理学専攻修士課程開設
2002年	4月	文京女子大学外国語学部英語コミュニケーション学科開設
2003年	4月	「文京女子大学」から「文京学院大学」へ校名変更 文京学院大学人間学部共生社会学科を開設。併せて保育心理専攻・福祉心理専攻・心理学専攻は、それぞれ保育学科・人間福祉学科・心理学科へ組織変更
2004年	10月	
2005年	4月	学園創立80周年 文京学院大学大学院外国語学研究科英語コミュニケーション専攻開設
	10月	大学全学部を共学化 新1年生から開始
2006年	4月	市町村合併により、ふじみ野キャンパス所在地の名称変更 「埼玉県入間郡大井町亀久保 1196 番地」→「埼玉県ふじみ野市亀久保 1196 番地」
2008年	3月	文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科・作業療法学科・臨床検査学科
	4月	をふじみ野キャンパス(学部の一部を本郷キャンパス)に開設 文京学院短期大学を男女共学へ移行、学科名を英語科に変更
2009年	10月	文京学院大学医学技術専門学校は発展的に閉校
2010年	4月	文京学院大学人間学部保育学科を児童発達学科に名称変更 学院創立85周年 文京学院大学大学院保健医療科学研究科保健医療科学専攻修士課程開設
2011年	4月	文京学院大学人間学部共生社会学科をコミュニケーション社会学科に名称変更、経営学部経営学科コンテンツ・ネットワーク専攻をコンテンツ・マネジメント専攻に名称変更 文京学院大学外国語学部英語コミュニケーション学科に国際ビジネスコミュニケーション専攻と国際教養コミュニケーション専攻を開設 文京学院短期大学英語科を英語キャリア科に名称変更